

<障がいのある方がつくる「まごころ製品」の認知度等について>

【調査の目的】

福岡県では、障がい者施設で働く障がいのある皆さんの収入向上を図るため、障がいのある皆さんがつくる製品や提供するサービスを「まごころ製品」(※)と名付けて販売促進に取り組んでいます。

しかしながら、「まごころ製品」の認知は進んでおらず、障がいのある皆さんの収入向上に結びついていないことから、皆さんの「まごころ製品」の認知度等についてお聴かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきたいと思っております。

(福祉労働部 障がい福祉課)

※ 「まごころ製品」とは

障がいのある皆さんが、まごころを込めてつくる製品や提供するサービスのこと。パンやお菓子、縫製品、木工品などの製品や、清掃や除草、印刷、クリーニングなどのサービスがあります。

<1> 「まごころ製品」という名前を知っていますか。

(n=351 選択は1つのみ)

知っている。	32.5%	(114名)
知らない。	67.5%	(237名)

無回答 0.0% (0名)

<2> 「まごころ製品」を購入(利用)したことがありますか。

(n=351 選択は1つのみ)

購入したことがある。	36.5%	(128名)
購入したことはないが、購入したいと思っている。	51.8%	(182名)
購入したことはないし、購入したいとも思わない。	11.7%	(41名)

無回答 0.0% (0名)

〈2-2〉 「まごころ製品」をどこで購入（利用）しましたか。

※ 複数回購入したことがある場合は、購入した回数の多い場所を選んでください。

(回答は、<2>で「購入（利用）したことがある」と答えた方 n=128 選択は2つまで 回答件数=192)

まごころ製品ショップ（県庁地下1階常設ショップ）	3.1%	(6名)
ウェブサイト「まごころ製品ショップ」	0.5%	(1名)
障がい者施設	24.5%	(47名)
道の駅	26.1%	(50名)
デパート、ショッピングモール、スーパー	22.9%	(44名)
県庁舎、市区町村役場	13.5%	(26名)
その他	9.4%	(18名)

無回答 0.0% (0名)

〔その他（抜粋）〕

- ・ 公共施設（保健福祉センター、子育て支援センター等）
- ・ イベント（お祭りでの出店、学校行事での販売等）
- ・ 駅に併設されているショップ
- ・ 会社に配布されるカタログや会社への訪問販売
- ・ パン屋

〈3〉 「まごころ製品」がもっと認知され、購入されるためには、どのような場所で販売すると良いと思いますか。

※ すでに販売されている場所については、販売回数（機会）を増やした方が良くと思う場所を選んでください

(n=351 選択は2つまで 回答件数=645)

インターネット	22.9%	(148名)
道の駅	25.3%	(163名)
デパート、ショッピングモール、スーパー	36.0%	(232名)
県庁舎、市区町村役場	9.3%	(60名)
その他	6.5%	(42名)

無回答 0.0% (0名)

〔その他（抜粋）〕

- ・ イベント（地域の催しやバザー等）
- ・ 駅、バスターミナル
- ・ コンビニエンスストア
- ・ 学校や公園
- ・ 喫茶店やカフェ
- ・ 会社のロビー

〈4〉 ウェブサイト「まごころ製品ショップ」を閲覧または利用したことがありますか。

(n=351 選択は1つのみ)

閲覧し、購入したことがある	1.4%	(5名)
閲覧したが、購入はしていない	4.0%	(14名)
閲覧したことがない	94.6%	(332名)

無回答 0.0% (0名)

〈4-2〉 購入されなかった理由は何ですか。

(回答は、〈4〉で「閲覧したが、購入はしていない」と答えた方 n=14 選択は1つのみ)

購入したいと思える商品がなかったため	35.7%	(5名)
価格が高いため	14.3%	(2名)
送料が必要なため	42.9%	(6名)
その他	7.1%	(1名)

無回答 0.0% (0名)

〔その他(抜粋)〕

- ・「まごころ製品」を作る当事者のため

〈5〉 「まごころ製品」についてこれまでの設問以外に意見がありますか。

(n=351 選択は1つのみ)

ある	21.7%	(76名)
特にない	78.3%	(275名)

無回答 0.0% (0名)

〔「まごころ製品」に対するご意見(要約・抜粋)〕

○ 広報活動について

- ・テレビなどのマスメディアを使って大いに宣伝されたら良いと思う。
- ・今回初めてまごころ製品をネットで検索してみた。まごころ製品の名前を知らないと感じた。
- ・バザーや保育所、小学校などで使ってもらえると認知度が高められると思う。【類似回答ほか1件】
- ・県主催、共催の行事、催し物などの際は「まごころ製品」の展示や販売を行えるスペースを確保し、積極的に障がい者施設の取組みをPRすることが大事だと思う。
- ・インターネット通販は販路の拡大にはなると思うが、認知が進まなければインターネットの閲覧も広がらない。
- ・ストーリーテイストな広告などをしてもよいと思う。
- ・食品については、安全性に不安を感じる部分があると思うので、安全への取組みなどを発信していくのがよいと思う。
- ・県、市のホームページや広報雑誌、新聞等で取り上げるべき。【類似回答ほか5件】
- ・製品を見せて口コミやTwitter、Instagramにアップして徐々に広がって

く運動も必要だと思う。

- ・来店頻度の多く、人がよく集まるショッピングモールやスーパーなどで販売する回数を増やせば、認知が広がると思う。【類似回答ほか2件】
- ・まごころ商品の広告、チラシ、ポスターで、分かりやすく販売場所を知らせてほしい。【類似回答ほか1件】
- ・まごころ製品の存在を知っていれば購入するという人は多くいると思うので、認知度を上げることが最も重要だと思う。【類似回答ほか2件】

○ 商品について

- ・障がい等級などによるアピールがあった方が、努力が伝わると思う。
- ・障がい者が作ったものだから買って下さいというより、普通の製品と同様に区別なく売るのが、買う側も障がいのある人のために買ってあげなければならないという心理的な負担がなくなると思う。
- ・一般の商品に負けない品質の商品を作る気概と、それをリーズナブルに販売する事ができるように努力していただきたいと思う。【類似回答ほか1件】
- ・例えば地域の有名なお菓子屋やパン屋などとコラボするなどの工夫があるといいと思う。
- ・商品が生活必需品や実用的なものだとよい。【類似回答ほか1件】
- ・どうしても商品を買うときはコスパや味、値段に見合った価値を求めてしまうので、「障がいのある人が作った」だけでなく、もっと別の買ってしまいたくなる付加価値がほしいと思う。【類似回答ほか1件】
- ・道の駅などに行くと、普段は買わないような商品も「せっかく来たから何か買って帰ろう」という気になりやすいので、そのような場所で、あまり高すぎる値段ではなくて買いやすい値段のものを扱うといいと思う。
- ・同じような一般の商品と比べると、やや値段が高いように感じ、購入までに至れない。
- ・見つけたらお菓子を購入している。価格もリーズナブルで、クオリティも高い。丁寧に作られていて包装も綺麗。一般の商品もある中で、好んで選んでいる。

○ 販売について

- ・まごころ製品コーナーを設けていただけそうなスーパーマーケットに依頼し、そのインセンティブを県でつけていければよいと思う。
- ・特に品質が高い商品があれば、スーパーマーケット店やデパート、そして、通販で売べきだと思う。
- ・コンビニなどでも販売したらいいと思う。
- ・専門のウェブサイト以外にも、大手のショッピングサイトなどでも買えるようにしたり、ふるさと納税で利用できるようにしたら、利用しやすいと思う。【類似回答ほか1件】
- ・博多駅や天神駅、市役所などアクセスしやすい場所にお店があると良い。
- ・スーパーや百貨店では場所代がかかってしまい、販路拡大につながらない。お祭りやイベントを行う際にまごころ製品のブースを設ける条例を作れば、販路拡大につながる

ると思う。

- ・ウェブサイトが見つらい。写真がボケたり暗いが多い。商品説明も読みづらいものがある。

○ その他のご意見

- ・障がいのある人が作ったものを販売するだけでなく、障がいのある人自身も販売場所でお客さんと対面で対応することで、お客様側の認知も高まるし、障がいのある人自身も社会との繋がりを体験でき、より多くの喜びや自信に繋がるのではないかと思う。
- ・購入した事はあったが「まごころ製品」という名称で展開されている事を知らなかった。【類似回答ほか5件】
- ・障がいのある人が作っていますという表現は必要なのだろうかと思う。出来上がりに差が出来てしまう事もあるかもしれないが、デザイン性などでカバー出来ないのだろうか。購入して良い物だったので、再度購入したいと思い、製造元を調べてみたら実は障がいのある人が作っていたという形が成り立つ事が、当事者の社会復帰になるのではないのかなと思う。
- ・障がいのある人＝まごころというネーミングは、なんとなく助けているという感覚になるので、変更した方がよいと思う。
- ・「まごころ製品」として区別する意味がどれだけあるのだろうかと思う。良い製品や必要なものは、誰が作ろうが買う。区別することで、少なからず、そこに同情が含まれてしまうことは否めないと思う。
- ・障がい者施設に県からも積極的にアプローチして、良品を制作する障がい者施設の開拓、販売についての情報提供、販売指導などの援助に力を入れて欲しい。更に、障がい者施設と県民、利用者、自治体とのパイプ役を深めてほしいと思う。
- ・障がい者施設もお金を産むものを作り出す努力をして欲しい。まだまだ経営努力が足りないと思う。